

# 概 況

## I. 商業販売額の動向

——12年連続の減少となった商業販売額——

平成15年の商業販売額は、528兆1,230億円、前年比▲0.7%と12年連続の減少となった（第1図、第1表）。四半期別にみると、1～3月期は前年同期比▲0.7%、4～6月期は同▲0.8%、7～9月期は同▲1.2%と26期連続の減少、10～12月期は横ばいとなった。

## II. 卸売業販売額の動向

——12年連続の減少となった卸売業——

平成15年の卸売業販売額は、機械器具卸売業、鉱物・金属材料卸売業、化学製品卸売業などが増加したものの、各種商品卸売業、農畜産物・水産物卸売業、飲料・食料卸売業などが不振だったことにより、399兆2,520億円、前年比▲0.3%と12年連続の減少となった（第2図、第2表）。これは、商社を中心とした業務再編（撤退や分社化）により取扱高が減少したことや、個人消費の弱い動きから消費関連が低調な動き、天候不順（長梅

雨、冷夏など）による季節商材の不振などによる。

四半期別にみると、

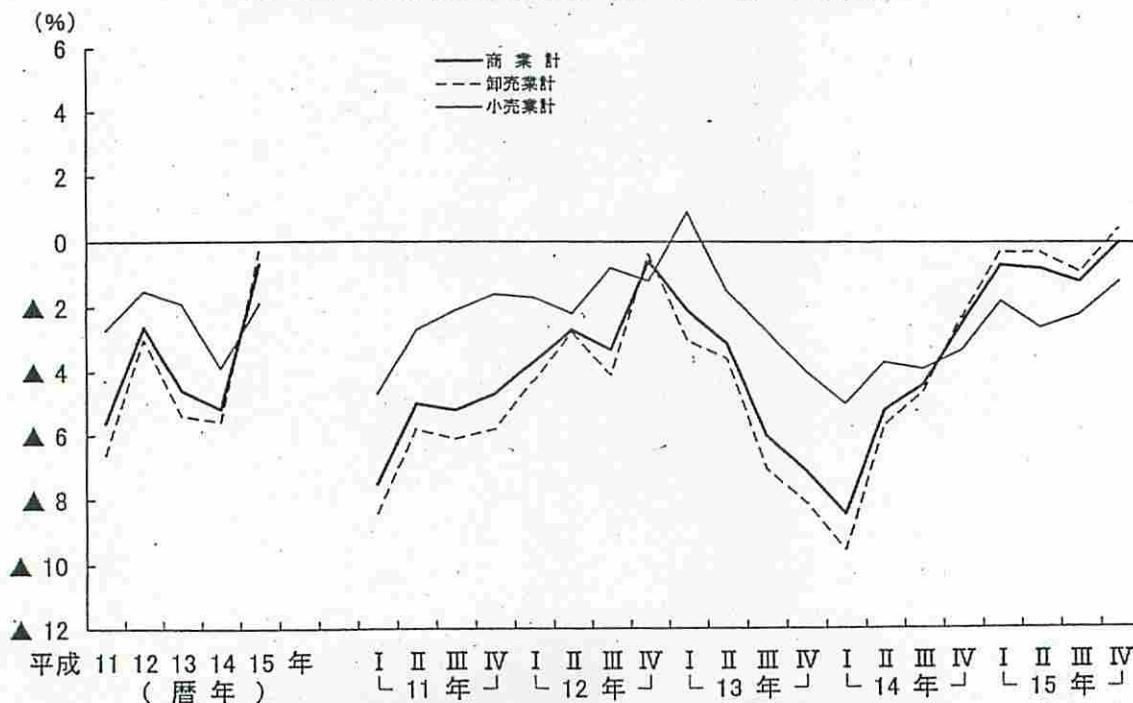
1～3月期は、鉱物・金属材料卸売業、化学製品卸売業などが増加したものの、各種商品卸売業、その他の卸売業、家具・建具・じゅう器卸売業などが減少したことから、前年同期比▲0.3%の減少となった。

4～6月期は、前期と同様に各種商品卸売業、農畜産物・水産物卸売業、家具・建具・じゅう器卸売業などが減少したことから、同▲0.3%の減少となった。

7～9月期は、機械器具卸売業、その他の卸売業、化学製品卸売業などは引き続き増加となったものの、各種商品卸売業、農畜産物・水産物卸売業、食料・飲料卸売業などが減少となったことにより、同▲0.9%の減少となった。

10～12月期は、各種商品卸売業、食料・飲料卸売業、建築材料卸売業などは低迷したものの、機械器具卸売業、その他の卸売業、化学製品卸売業などが増加したことにより、同0.4%と27期ぶりに増加となった。

第1図 商業販売額の推移（前年比・前年同期比）



第1表 商業販売額及び前年(同期)比の推移

年	業種	商業計		卸売業計		小売業計	
		販売額 (10億円)	前年比 (%)	販売額 (10億円)	前年比 (%)	販売額 (10億円)	前年比 (%)
平成11年		606,535	▲5.6	465,007	▲6.6	141,528	▲2.7
12年		587,775	▲2.6	448,341	▲3.0	139,435	▲1.5
13年		560,805	▲4.6	423,996	▲5.4	136,808	▲1.9
14年		531,758	▲5.2	400,346	▲5.6	131,413	▲3.9
15年		528,123	▲0.7	399,252	▲0.3	128,871	▲1.9
平成11年	1～3月期	158,589	▲7.5	124,097	▲8.4	34,492	▲4.7
	4～6月期	143,952	▲5.0	109,021	▲5.8	34,931	▲2.7
	7～9月期	151,972	▲5.2	117,306	▲6.1	34,666	▲2.1
	10～12月期	152,021	▲4.7	114,582	▲5.8	37,438	▲1.6
12年	1～3月期	149,701	▲3.7	115,806	▲4.3	33,895	▲1.7
	4～6月期	140,085	▲2.7	105,923	▲2.8	34,162	▲2.2
	7～9月期	146,916	▲3.3	112,527	▲4.1	34,389	▲0.8
	10～12月期	151,073	▲0.6	114,084	▲0.4	36,989	▲1.2
13年	1～3月期	146,572	▲2.1	112,369	▲3.0	34,203	0.9
	4～6月期	135,797	▲3.1	102,151	▲3.6	33,647	▲1.5
	7～9月期	138,079	▲6.0	104,616	▲7.0	33,463	▲2.7
	10～12月期	140,356	▲7.1	104,861	▲8.1	35,496	▲4.0
14年	1～3月期	134,199	▲8.4	101,695	▲9.5	32,504	▲5.0
	4～6月期	128,748	▲5.2	96,345	▲5.7	32,404	▲3.7
	7～9月期	132,007	▲4.4	99,844	▲4.6	32,163	▲3.9
	10～12月期	136,803	▲2.5	102,461	▲2.3	34,342	▲3.3
15年	1～3月期	133,275	▲0.7	101,371	▲0.3	31,904	▲1.8
	4～6月期	127,656	▲0.8	96,089	▲0.3	31,567	▲2.6
	7～9月期	130,369	▲1.2	98,908	▲0.9	31,461	▲2.2
	10～12月期	136,823	0.0	102,884	0.4	33,940	▲1.2

## 1. 業種別の動向

① 各種商品卸売業は、原油の取扱高が増加したものの、不採算部門からの撤退、分社化など業務再編による取扱高の減少により、40兆4,660億円、前年比▲7.2%と12年連続の減少となった。

四半期別にみると、1～3月期は、原油価格が大幅に上昇したこと、同関連製品も増加したものの、分社化などの業務再編などによる取扱高の減少、国内の設備関連機器の需要が弱く、前年同期比▲8.2%の減少となった。4～6月期は、原油及び石油製品の輸入は増加したものの、引き続き業務再編による取扱高の減少により、同▲3.7%の減少となった。7～9月期も同様に同▲9.5%の減少となり、10～12月期は、引き続き業務再編や船舶など取扱高の減少もあり、同▲6.8%と10期連続の減少となった。

② 繊維品卸売業は、国内製品価格の低下、合成繊維織物の輸出が低調だったことにより、5兆3,000億円、前年比▲3.4%と13年連続の減少となった。

四半期別にみると、国内向け需要の不振に加え、合成繊維織物の輸出の減少もあり、1～3月期は前年同期比▲4.4%、4～6月期が同▲4.7%、7～9月期が同▲3.0%、10～12月期も同▲1.5%と26期連続の減少となった。

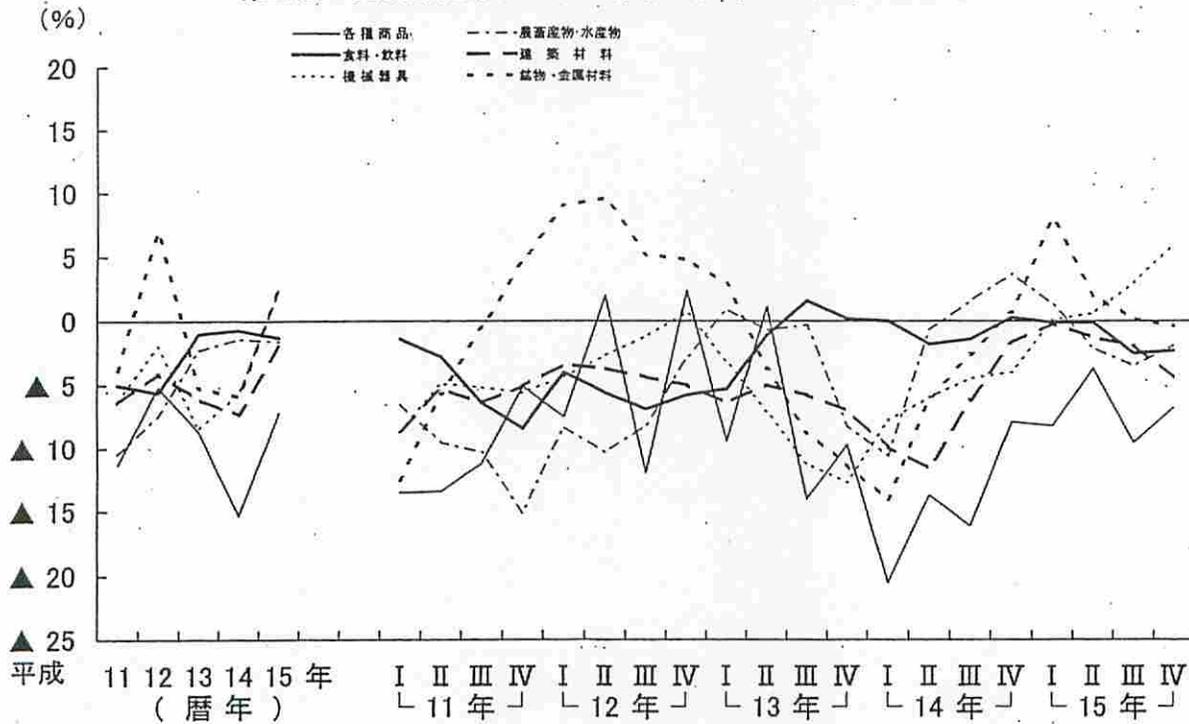
③ 衣服・身の回り品卸売業は、低価格傾向が続いたことや天候とのミスマッチから季節衣料品の販売が低調で、14兆7,780億円、前年比▲2.8%と12年連続の減少となった。

四半期別にみると、1～3月期も低価格傾向が続いているものの、春物衣料の投入などもあって、前年同期比0.3%と2期ぶりに増加、4～6月期は、低価格傾向に加え、天候不順で動きが鈍く、同▲2.4%と再び減少となり、7～9月期が同▲5.1%、10～12月期も同▲3.8%と3期連続の減少となった。

④ 農畜産物・水産物卸売業は、牛肉の取扱いの増加があったものの、魚介類、小麦などの輸入が減少したこともあり、40兆870億円、前年比▲1.6%と13年連続の減少となった。

四半期別にみると、1～3月期は、気温が低

第2図 主要卸売業販売額の推移（前年比・前年同期比）



第2表 卸売業の業種別販売額前年（同期）比の推移

(単位：%)

年	卸売業															家具・ 建具・ じゅう 器	医薬品 化粧品	その他
	各種 商品	繊維品	衣服 身の 回り品	農畜 産物 水産物	食料 飲料	建築 材料	化学 製品	鉱物 金属材料	機械 器具	一般 機械	自動車	電気 機械	その他の 機械器具	卸売業	卸売業			
平成11年	▲6.6	▲11.3	▲5.2	▲10.2	▲10.5	▲5.0	▲6.4	▲0.7	▲3.8	▲6.2	▲18.5	▲5.7	▲2.3	12.3	▲11.1	0.0	▲5.0	
12年	▲3.0	▲5.2	▲9.9	▲8.7	▲7.4	▲5.6	▲4.1	▲1.4	7.0	▲2.0	0.0	1.2	0.2	▲14.7	▲2.8	▲3.1	▲2.2	
13年	▲5.4	▲8.7	▲4.7	▲1.0	▲2.3	▲1.0	▲6.1	▲6.7	▲5.2	▲8.5	▲4.0	0.9	▲13.0	▲9.1	▲0.4	0.5	▲5.1	
14年	▲5.6	▲15.3	▲3.5	▲1.7	▲1.4	▲0.7	▲7.3	▲6.2	▲5.9	▲5.7	▲6.9	2.6	▲7.3	▲7.3	▲3.2	▲0.1	▲5.9	
15年	▲0.3	▲7.2	▲3.4	▲2.8	▲1.6	▲1.3	▲2.0	2.6	2.5	2.4	1.1	3.9	2.7	1.2	▲2.2	1.8	0.6	
11年 1～3月期	▲8.4	▲13.5	▲8.4	▲8.2	▲6.5	▲1.4	▲8.6	0.8	▲12.5	▲8.6	▲26.8	▲10.7	▲3.2	21.5	▲17.5	2.1	▲5.4	
4～6月期	▲5.8	▲13.4	▲6.2	▲8.2	▲9.5	▲2.8	▲5.3	3.1	▲5.7	▲4.9	▲18.8	▲6.0	1.5	26.4	▲13.0	▲1.2	▲4.5	
7～9月期	▲6.1	▲11.2	▲2.1	▲13.0	▲10.3	▲6.4	▲6.4	▲2.9	▲0.5	▲5.2	▲15.9	▲2.0	1.3	5.1	▲5.8	▲2.0	▲2.9	
10～12月期	▲5.8	▲5.1	▲3.9	▲11.5	▲15.1	▲8.4	▲5.1	▲3.5	4.7	▲5.6	▲9.3	▲3.5	▲3.1	▲1.7	▲6.9	1.3	▲7.2	
12年 1～3月期	▲4.3	▲7.5	▲7.6	▲9.2	▲8.3	▲4.0	▲3.4	▲4.2	9.0	▲4.4	▲6.2	2.7	▲1.1	▲14.8	▲2.3	▲6.0	▲6.9	
4～6月期	▲2.8	2.0	▲8.4	▲13.0	▲10.3	▲5.6	▲3.7	▲5.1	9.6	▲2.7	▲5.8	3.0	2.2	▲19.3	▲1.6	▲2.3	▲2.7	
7～9月期	▲4.1	▲11.9	▲12.5	▲8.3	▲8.2	▲6.9	▲4.4	0.9	5.2	▲1.2	5.3	▲3.5	▲1.2	▲10.1	▲5.5	▲2.9	▲1.0	
10～12月期	▲0.4	2.4	▲10.8	▲4.5	▲2.9	▲5.8	▲5.0	2.8	4.8	0.7	7.5	2.6	1.2	▲13.9	▲1.8	▲1.4	2.0	
13年 1～3月期	▲3.0	▲9.4	▲7.1	1.0	0.9	▲5.3	▲6.4	0.1	2.9	▲3.2	5.1	▲2.2	▲5.6	▲8.7	▲0.1	▲1.8	▲0.8	
4～6月期	▲3.6	1.1	▲7.5	▲1.6	0.7	▲1.1	▲5.0	▲2.9	▲3.7	▲7.1	▲0.8	▲0.9	▲10.6	▲11.7	1.1	0.9	▲7.2	
7～9月期	▲7.0	▲14.0	▲3.2	▲2.1	▲0.3	1.6	▲5.8	▲9.6	▲8.7	▲11.2	▲9.0	3.5	▲17.0	▲7.2	▲0.3	1.4	▲5.9	
10～12月期	▲8.1	▲9.7	▲1.0	▲1.1	▲8.2	0.2	▲7.0	▲13.7	▲11.3	▲12.7	▲10.8	3.2	▲18.9	▲8.7	▲2.4	1.2	▲6.3	
14年 1～3月期	▲9.5	▲20.5	▲1.3	▲5.8	▲10.6	0.0	▲9.9	▲12.2	▲14.1	▲7.8	▲8.6	4.5	▲10.9	▲7.3	▲4.9	1.4	▲5.3	
4～6月期	▲5.7	▲13.7	▲1.8	▲1.1	▲0.7	▲1.8	▲11.6	▲8.2	▲6.1	▲6.0	▲9.5	3.1	▲6.9	▲7.5	▲2.6	▲1.8	▲4.8	
7～9月期	▲4.6	▲16.1	▲4.8	2.1	1.6	▲1.4	▲6.2	▲3.3	▲2.6	▲4.5	▲6.5	2.9	▲5.1	▲7.6	▲2.6	▲0.6	▲5.9	
10～12月期	▲2.3	▲7.9	▲6.1	▲1.7	3.7	0.3	▲1.7	▲0.3	0.7	▲4.0	▲2.8	▲0.1	▲5.4	▲6.8	▲2.8	0.8	▲7.4	
15年 1～3月期	▲0.3	▲8.2	▲4.4	0.3	1.3	▲0.1	▲0.2	4.2	8.0	0.1	▲1.4	2.0	0.6	▲2.0	▲6.1	3.4	▲4.8	
4～6月期	▲0.3	▲3.7	▲4.7	▲2.4	▲2.1	▲0.1	▲1.3	1.6	2.0	0.6	1.2	3.2	▲0.4	0.0	▲4.8	1.2	1.3	
7～9月期	▲0.9	▲9.5	▲3.0	▲5.1	▲3.5	▲2.5	▲1.9	2.0	0.2	3.0	2.4	5.2	2.6	2.7	0.2	1.8	1.8	
10～12月期	0.4	▲6.8	▲1.5	▲3.8	▲1.9	▲2.3	▲4.4	2.7	▲0.4	6.0	2.4	5.3	8.4	4.6	2.0	1.1	4.1	

く生鮮野菜が生育不良で価格が上昇したことに加え、BSEの影響による牛肉不振も回復したことから、前年同期比1.3%と3期連続の増加、4～6月期は、牛肉は堅調に推移したが、食料品の輸入の減少や魚介類、果物などの相場安などから、同▲2.1%の減少、7～9月期も魚介類の輸入減や、天候不順で夏物食材（スイカ、うなぎなど）が伸び悩み、同▲3.5%の減少、10～12月期は、気温が高めに推移したこと

により野菜などの生育がよく生鮮野菜の価格が下落したことにより、同▲1.9%と3期連続の減少となった。

- ⑤ 食料・飲料卸売業は、外食産業向けが弱い動きとなったことに加え、発泡酒の増税や冷夏によりビール・発泡酒が低調だったことにより、43兆1,230億円、前年比▲1.3%と12年連続の減少となった。

四半期別にみると、1～3月期は、外食産業

向け食品が弱い動きとなり、前年同期比▲0.1%の減少、4～6月期も同様に同▲0.1%、7～9月期は、天候不順で盛夏商材（飲料、アイスクリームなど）や外食産業向けの不振から、同▲2.5%の減少、10～12月期も外食産業向けの食品、ビールなどが低調だったことから、同▲2.3%と4期連続の減少となった。

- ⑥ 建築材料卸売業は、公共工事の減少などから、セメントや同製品など窯業・土石製品の需要が減少し、22兆8,610億円、前年比▲2.0%と7年連続の減少となった。

四半期別にみると、1～3月期は、前年同期比▲0.2%の減少、同様に4～6月期が同▲1.3%、7～9月期が同▲1.9%、10～12月期が同▲4.4%と推移し、27期連続の減少となった。

- ⑦ 化学製品卸売業は、プラスチックなどの輸出が好調、国内需要も堅調に推移、価格の上昇もあり、21兆1,340億円、前年比2.6%と5年ぶりの増加となった。

四半期別にみると、1～3月期は、原油価格上昇に伴い化学製品の価格が上昇し、前年同期比4.2%と8期ぶりに増加、4～6月期は、化学製品の価格の上昇に加えて、アジア向け輸出も堅調で、同1.6%の増加、7～9月期も同2.0%の増加となった。10～12月期は、プラスチックや有機化合物などのアジア向け輸出が好調だったことに加え、国内需要も堅調だったことから、同2.7%と4期連続の増加となった。

- ⑧ 鉱物・金属材料卸売業は、イラク戦争の危機に端を発した原油価格の高騰による原油や石油製品の取扱高の増加、原子力発電停止による重油などの増加、鉄鋼がアジア向けに堅調、国内も自動車向けに好調だったことで、44兆480億円、前年比2.5%と3年ぶりの増加となった。

四半期別にみると、1～3月期は、イラク情勢の緊迫化や戦争の影響で原油価格が高騰したこと、鉄鋼の輸出が好調だったことから、前年同期比8.0%の増加、引き続き、4～6月期が同2.0%、7～9月期が同0.2%と4期連続の増加となった。10～12月期は、原油、石油製品の輸入が減少し、同▲0.4%と5期ぶりに減少となった。

- ⑨ 機械器具卸売業は、自動車の輸出が好調、国内向けも普通車が新型車効果で増加、トラック

も排ガス規制の強化による買い換え需要の増加があつて好調、電気機械器具関連も半導体等電子部品、音響・映像機器の部分品などの輸出が好調、一般機械も建設・鉱山用機械、金属加工機械などの輸出が好調、内需も設備投資関連機械に動きがみられ、101兆4,250億円、前年比2.4%と6年ぶりの増加となった。

四半期別にみると、1～3月期は、パソコン需要が低迷したものの、自動車が国内外とも好調だったことにより、前年同期比0.1%と9期ぶりに増加、4～6月期は、建設・鉱山用機械の輸出の好調も加わり、同0.6%の増加、7～9月期は、自動車や建設・鉱山用機械が引き続き好調なこと、パソコンも持ち直しの動きになり、同3.0%の増加、10～12月期も自動車の内外需、半導体等電子部品の輸出入の好調などにより、同6.0%と4期連続の増加となった。

- ⑩ 家具・建具・じゅう器卸売業は、年前半の住宅着工の弱さを反映し、7兆150億円、前年比▲2.2%と12年連続の減少となった。

四半期別にみると、住宅着工戸数の減少などによる需要不振から1～3月期は、前年同期比▲6.1%、4～6月期が同▲4.8%の減少、7～9月期は、住宅着工の堅調な動きを反映し、同0.2%と9期ぶりに増加、引き続き、10～12月期も同2.0%と2期連続の増加となった。

- ⑪ 医薬品・化粧品卸売業は、医薬品の輸入の増加、高齢化の進展で医療機関向けに動きがみられ、皮膚用化粧品などの基礎化粧品も好調だったことから、21兆7,220億円、前年比1.8%と2年ぶりに増加となった。

四半期別にみると、1～3月期は、医療機関向け医薬品が堅調だったことに加え、インフルエンザの流行に伴い検査薬、治療薬の動きが活発化し、前年同期比3.4%の増加、引き続き、4～6月期が医療機関向け医薬品が堅調だったことに加え、化粧品も堅調で、同1.2%の増加、7～9月期が同1.8%の増加、10～12月期は、医薬品の輸出入が堅調だったことにより、同1.1%と5期連続の増加となった。

- ⑫ その他の卸売業は、パルプの輸入の増加、電気製品などの包装用需要の増加、市況の上昇に加え、チラシ広告も年後半に動きがみられ、37兆2,930億円、前年比0.6%と6年ぶりに増加と

なった。

四半期別にみると、1～3月期は、前年同期比▲4.8%と9期連続の減少、4～6月期は、印刷用紙の国内市況高から輸入が増加したことに加え、たばこの増税前の駆け込み需要もあって、同1.3%の増加、7～9月期は、板紙が飲料向けなどに動いたことや、秋からの値上げ前に仮需が発生したことで、同1.8%の増加、10～12月期は、たばこが増税による価格の上昇、デジタル家電向けにカタログ、説明書向けの塗工紙などが堅調で、同4.1%と3期連続の増加となった。

## 2. 大規模卸売店の動向

大規模卸売店の販売額は、125兆7,019億円、前年比▲2.4%と6年連続の減少となった(第3表)。

これは、前年に引き続き、業務の再編(分社化、他社と部門統合、事業撤退)による取扱高の縮小、住宅着工の減少など国内需要が低調に推移したことによる。

販売額を商品別にみると、石油・石炭、自動車などが増加したものの、鉄鋼、農畜産物・水産物、その他の機械器具などが減少となった。

四半期別にみると(第4表)、

1～3月期は、石油・石炭、その他の輸送用機

械器具などが増加したものの、その他の機械器具、その他の商品などが減少したことから、前年同期比は横ばいとなった。4～6月期は、石油・石炭、自動車などが増加したものの、鉄鋼、その他の機械器具などが引き続き減少したことから、同▲2.2%と3期ぶりに減少、7～9月期も、自動車、家庭用電気機械器具などが増加したものの、その他の機械器具、鉄鋼などが減少したことから、同▲4.6%の減少となった。10～12月期は、家庭用電気機械器具、一般機械器具などが増加となったものの、鉄鋼、その他の機械器具などが減少したことから、同▲2.8%と3期連続の減少となった。

## Ⅲ. 小売業販売額の動向

——7年連続の減少となった小売業販売額——

平成15年の小売業販売額は、128兆8,710億円、前年比▲1.9%と7年連続の減少となった。これは、普通乗用車の販売が堅調だった自動車小売業などが増加となったものの、雇用、所得環境の先行き不安から個人消費の弱い動きが続いていることや、低価格傾向や衣料品の販売不調だった織物・衣服・身の回り品小売業、パソコンやエアコンの不振が響いた機械器具小売業などが減少したこ

第3表 大規模卸売店商品別販売額及び前年比の推移

年 商 品	平成11年		平成12年		平成13年		平成14年		平成15年	
	販売額 (億円)	前年比 (%)								
合 計	1,210,532	▲ 8.5	1,180,221	▲ 0.3	1,085,534	▲ 5.9	1,151,281	▲ 6.5	1,257,019	▲ 2.4
織 維 品	34,320	▲12.0	30,184	▲12.9	27,182	▲10.9	25,140	▲12.3	22,795	▲13.9
衣服・身の回り品	54,162	▲ 5.4	49,370	▲ 6.8	45,466	▲ 5.9	40,479	▲ 6.5	36,820	▲ 4.5
農畜産物・水産物	142,874	▲11.1	125,977	▲ 9.6	112,419	▲ 8.4	98,074	▲ 6.3	88,048	▲ 3.2
食 料 ・ 飲 料	88,615	▲ 2.3	85,680	▲ 0.8	80,550	▲ 3.7	87,083	▲ 0.8	91,078	▲ 1.7
医薬品・化粧品	23,843	▲ 3.9	25,115	▲11.1	25,483	▲ 6.0	29,432	▲ 3.7	30,997	▲ 3.1
化 学 製 品	69,221	▲ 6.1	66,726	▲ 0.4	59,609	▲ 7.6	71,294	▲ 8.5	89,067	▲ 0.8
石油・石炭	99,510	▲ 0.0	123,529	▲25.4	120,976	▲ 1.1	116,638	▲ 5.0	130,215	▲10.3
鉄 物	9,646	▲18.5	9,744	▲ 0.6	9,557	▲ 3.6	10,293	▲ 2.0	10,127	▲ 6.2
鉄 鋼	78,970	▲14.5	78,049	▲ 1.1	68,467	▲12.2	72,806	▲12.2	69,344	▲18.2
非 鉄 金 属	35,973	▲23.4	35,223	▲ 2.4	27,485	▲17.8	27,142	▲14.0	30,040	▲ 3.0
一 般 機 械 器 具	101,201	▲11.2	91,701	▲ 2.2	81,157	▲ 2.9	79,853	▲15.0	93,322	▲ 1.8
自 動 車	127,751	▲ 8.7	129,278	▲ 2.0	125,894	▲ 1.9	144,171	▲ 3.0	161,937	▲ 2.4
その他の輸送用機械器具	23,989	▲19.6	18,567	▲22.8	21,986	▲18.0	19,565	▲12.0	20,650	▲ 4.0
家庭用電気機械器具	48,301	▲ 1.4	49,177	▲ 3.5	43,980	▲ 9.2	43,677	▲ 7.1	49,803	▲ 7.5
その他の機械器具	114,389	▲ 9.9	115,746	▲ 3.0	106,698	▲ 6.1	155,163	▲ 4.4	197,858	▲ 7.1
建 築 材 料	30,097	▲ 3.8	24,836	▲16.0	20,344	▲16.4	18,005	▲21.8	16,878	▲16.7
紙 ・ 紙 製 品	20,733	▲ 6.3	21,658	▲ 7.2	20,544	▲ 3.0	21,566	▲ 7.5	24,470	▲ 1.2
そ の 他 の 商 品	106,936	▲ 7.6	99,660	▲ 4.0	87,736	▲ 9.1	90,897	▲ 5.3	93,569	▲ 5.2

注：平成12年及び14年の前年比は、標本事業所の入れ替えに伴うギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している。

第4表 大規模卸売店商品別販売額及び前年同期比の推移

年 商 品	平成15年							
	1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期	
	販売額 (億円)	前年 同期比(%)	販売額 (億円)	前年 同期比(%)	販売額 (億円)	前年 同期比(%)	販売額 (億円)	前年 同期比(%)
合 計	347,180	0.0	288,432	▲ 2.2	313,969	▲ 4.6	307,438	▲ 2.8
織 維 品	6,502	▲ 14.9	5,051	▲ 12.1	6,000	▲ 15.0	5,242	▲ 13.1
衣服・身の回り品	9,156	▲ 6.2	8,374	▲ 5.7	9,324	▲ 2.6	9,966	▲ 3.7
農畜産物・水産物	22,072	▲ 4.3	21,677	▲ 0.7	21,218	▲ 3.4	23,081	▲ 4.4
食料・飲料	21,751	▲ 1.1	22,594	▲ 1.9	23,048	▲ 4.4	23,685	0.7
医薬品・化粧品	7,081	4.4	7,771	▲ 1.7	7,581	▲ 9.2	8,564	▲ 4.3
化学製品	23,502	▲ 0.9	21,228	1.8	22,046	1.0	22,291	1.5
石油・石炭	37,413	28.0	30,131	17.8	31,383	0.2	31,288	▲ 2.2
鉱物	2,750	▲ 1.0	2,537	5.2	2,421	▲ 25.2	2,419	1.7
鉄鋼	19,830	▲ 7.7	16,050	▲ 18.8	16,893	▲ 22.2	16,572	▲ 24.1
非鉄金属	7,462	▲ 10.3	7,388	▲ 5.9	7,835	2.9	7,356	2.3
一般機械器具	31,319	2.8	17,751	3.7	23,732	▲ 1.6	20,520	3.1
自動車	39,995	▲ 1.3	39,878	7.5	41,458	4.1	40,607	▲ 0.3
その他の輸送用機械器具	8,293	10.9	4,322	16.9	4,318	▲ 14.0	3,717	1.6
家庭用電気機械器具	10,727	▲ 0.4	12,282	4.4	12,595	13.7	14,198	11.6
その他の機械器具	63,035	▲ 4.3	40,374	▲ 10.2	50,359	▲ 10.7	44,091	▲ 3.6
建築材料	5,094	▲ 19.3	3,502	▲ 17.3	4,430	▲ 12.6	3,852	▲ 17.2
紙・紙製品	5,813	▲ 8.5	6,231	6.4	6,307	4.9	6,119	2.8
その他の商品	25,384	▲ 5.8	21,292	▲ 4.8	23,022	▲ 7.1	23,870	▲ 3.0

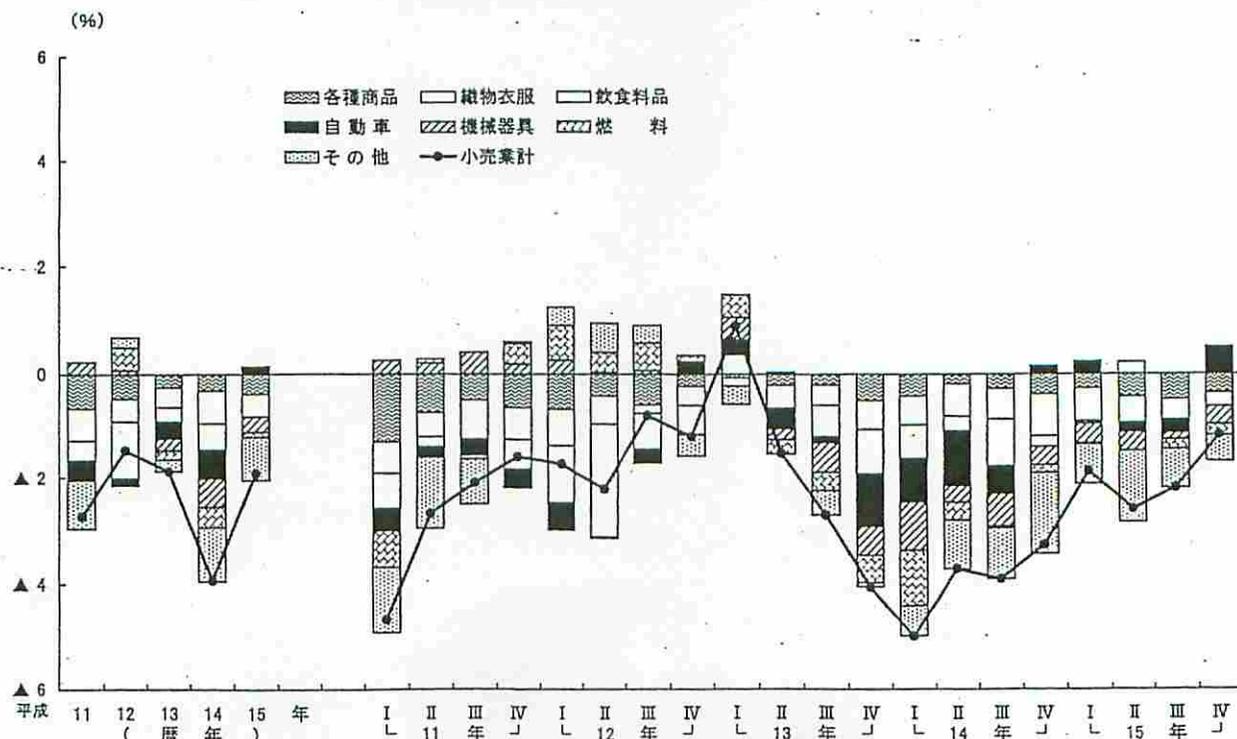
注：平成15年1～3月期及び4～6月期の前年同期比は、標本事業所の入れ替えに伴うギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している。

とによる。

四半期別にみると（第3図、第5表）、1～3月期は、新型車に動きがみられた自動車小売業が増加したものの、他の業種が減少したことにより、前年同期比▲1.8%の減少となった。4～6月期は、飲食料品小売業が生鮮野菜などの価格上

昇やBSEの影響が薄れた牛肉の堅調な動きで増加、燃料小売業も増加したものの、他の業種が減少したことにより、同▲2.6%の減少となった。7～9月期は、長梅雨、冷夏、9月の残暑など天候不順の影響を大きく受けた各種商品小売業など全業種が減少し、同▲2.2%の減少となった。10

第3図 小売業業種別寄与度の推移（前年比・前年同期比）



第5表 小売業の業種別販売額及び前年(同期)比の推移

(単位 販売額：10億円、前年(同期)比：%)

年	小 売 業															
	各種商品		織物・衣服・身の回り品		飲食料品		自動車		機械器具		燃 料		そ の 他			
	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比	販売額	前年比		
平成11年	141,528	▲ 2.7	18,522	▲ 5.0	12,334	▲ 6.8	43,390	▲ 1.3	16,476	▲ 2.8	8,518	4.2	11,167	▲ 0.6	31,120	▲ 4.2
12年	139,435	▲ 1.5	17,837	▲ 3.7	11,715	▲ 5.0	41,828	▲ 3.6	16,283	▲ 1.2	8,637	1.4	11,745	5.2	31,390	0.9
13年	136,808	▲ 1.9	17,469	▲ 2.1	11,166	▲ 4.7	41,444	▲ 0.9	15,835	▲ 2.8	8,316	▲ 3.7	11,491	▲ 2.2	31,088	▲ 1.0
14年	131,413	▲ 3.9	17,020	▲ 2.6	10,293	▲ 7.8	40,766	▲ 1.6	15,089	▲ 4.7	7,567	▲ 9.0	10,955	▲ 4.7	29,723	▲ 4.4
15年	128,871	▲ 1.9	16,490	▲ 3.1	9,714	▲ 5.6	40,820	0.1	15,218	0.9	7,171	▲ 5.2	10,821	▲ 1.2	28,636	▲ 3.7
11年 1～3月期	34,492	▲ 4.7	4,542	▲ 5.6	3,095	▲ 7.2	10,178	▲ 2.4	4,452	▲ 3.9	1,968	2.8	2,811	▲ 7.2	7,447	▲ 7.2
4～6月期	34,931	▲ 2.7	4,401	▲ 5.9	3,144	▲ 5.0	10,824	▲ 0.6	4,030	▲ 1.7	2,040	3.7	2,678	1.1	7,815	▲ 5.8
7～9月期	34,666	▲ 2.1	4,470	▲ 3.9	2,754	▲ 8.8	10,950	▲ 0.1	4,074	▲ 2.2	2,233	6.9	2,615	▲ 1.1	7,570	▲ 3.9
10～12月期	37,438	▲ 1.6	5,109	▲ 4.6	3,342	▲ 6.6	11,439	▲ 1.8	3,920	▲ 3.4	2,277	3.2	3,064	5.0	8,288	0.1
12年 1～3月期	33,895	▲ 1.7	4,305	▲ 5.2	2,858	▲ 7.7	9,802	▲ 3.7	4,274	▲ 4.0	2,057	4.5	3,035	8.0	7,565	1.6
4～6月期	34,162	▲ 2.2	4,249	▲ 3.5	2,956	▲ 6.0	10,077	▲ 6.9	4,019	▲ 0.3	2,049	0.4	2,810	4.9	8,003	2.4
7～9月期	34,389	▲ 0.8	4,263	▲ 4.6	2,700	▲ 2.0	10,714	▲ 2.2	3,981	▲ 2.3	2,257	1.1	2,790	6.7	7,684	1.5
10～12月期	36,989	▲ 1.2	5,020	▲ 1.7	3,201	▲ 4.2	11,234	▲ 1.8	4,009	2.3	2,274	▲ 0.1	3,110	1.5	8,139	▲ 1.8
13年 1～3月期	34,203	0.9	4,282	▲ 0.5	2,799	▲ 2.1	9,928	1.3	4,364	2.1	2,200	7.0	3,182	4.9	7,447	▲ 1.6
4～6月期	33,647	▲ 1.5	4,173	▲ 1.8	2,804	▲ 5.1	10,086	0.1	3,885	▲ 3.3	1,977	▲ 3.5	2,716	▲ 3.3	8,005	0.0
7～9月期	33,463	▲ 2.7	4,186	▲ 1.8	2,566	▲ 5.0	10,506	▲ 1.9	3,943	▲ 1.0	2,064	▲ 8.5	2,671	▲ 4.3	7,526	▲ 2.1
10～12月期	35,496	▲ 4.0	4,827	▲ 3.8	2,997	▲ 6.4	10,923	▲ 2.8	3,642	▲ 9.2	2,074	▲ 8.8	2,922	▲ 6.1	8,110	▲ 0.4
14年 1～3月期	32,504	▲ 5.0	4,136	▲ 3.4	2,610	▲ 6.8	9,710	▲ 2.2	4,084	▲ 6.4	1,889	▲ 14.1	2,826	▲ 11.2	7,249	▲ 2.7
4～6月期	32,404	▲ 3.7	4,110	▲ 1.5	2,593	▲ 7.5	9,993	▲ 0.9	3,539	▲ 8.9	1,869	▲ 5.5	2,602	▲ 4.2	7,698	▲ 3.8
7～9月期	32,163	▲ 3.9	4,088	▲ 2.3	2,373	▲ 7.5	10,209	▲ 2.8	3,769	▲ 4.4	1,857	▲ 10.0	2,658	▲ 0.5	7,208	▲ 4.2
10～12月期	34,342	▲ 3.3	4,686	▲ 2.9	2,717	▲ 9.3	10,853	▲ 0.6	3,698	1.5	1,951	▲ 5.9	2,869	▲ 1.8	7,568	▲ 6.7
15年 1～3月期	31,904	▲ 1.8	4,045	▲ 2.2	2,406	▲ 7.8	9,694	▲ 0.2	4,166	2.0	1,768	▲ 6.4	2,820	▲ 0.2	7,005	▲ 3.4
4～6月期	31,567	▲ 2.6	3,964	▲ 3.5	2,434	▲ 6.1	10,069	0.8	3,482	▲ 1.6	1,753	▲ 6.2	2,604	0.1	7,261	▲ 5.7
7～9月期	31,461	▲ 2.2	3,927	▲ 3.9	2,248	▲ 5.3	10,197	▲ 0.1	3,702	▲ 1.8	1,816	▲ 2.2	2,599	▲ 2.2	6,971	▲ 3.3
10～12月期	33,940	▲ 1.2	4,554	▲ 2.8	2,627	▲ 3.3	10,861	0.1	3,869	4.6	1,834	▲ 6.0	2,797	▲ 2.5	7,398	▲ 2.2

～12月期は、新型車が好調だった自動車小売業、飲食料品小売業が増加したものの、各種商品小売業、その他小売業、パソコンや同関連製品の動きが鈍かった機械器具小売業などが減少し、同▲1.2%と11期連続の減少となった。

### 1. 業種別の動向

① 各種商品小売業は、主力商品である衣料品の減少が続いたことに加え、法人や大口需要の落ち込みや売場面積の縮小で家具、家庭用電気機械器具などが減少し、16兆4,900億円、前年比▲3.1%と8年連続の減少となった。

四半期別にみると、1～3月期は、飲食料品が好調だったものの、春物衣料の動きが鈍く衣料品が減少したことに加え、大口需要の減退などもあり、前年同期比▲2.2%の減少、4～6月期は、飲食料品が堅調だったものの、引き続き大口需要の減退、季節衣料の不振などもあって、同▲3.5%の減少、7～9月期は、セールなどが好調だったものの、天候不順の影響を受けて季節商材の不振、引き続き法人などの大口需要の減退があり、同▲3.9%の減少、10～12月期は、飲食料品が歳暮、年末商戦等に動きがみられたものの、天候不順で季節衣料品の動き

が鈍く、また、価格低下も続いており、同▲2.8%と平成9年4～6月期から27期連続の減少となった。

② 織物・衣服・身の回り品小売業は、気候要因により季節衣料が不振だったことに加え、価格の低下傾向が続き、9兆7,140億円、前年比▲5.6%と減少し、平成4年から12年連続の減少となった。

四半期別にみると、期を通して価格の低下傾向が続いていることや、気候要因で季節衣料の動きが低調だったことから1～3月期は、前年同期比▲7.8%、4～6月期が同▲6.1%、7～9月期が同▲5.3%、10～12月期も同▲3.3%と平成9年4～6月期から27期連続の減少となった。

③ 飲食料品小売業は、全般的に低価格傾向にあるが、年を通してみると米価や生鮮野菜の市況が上昇していることにより、40兆8,200億円、前年比0.1%とわずかながらも7年ぶりの増加となった。

四半期別にみると、1～3月期は、酒類、魚介類が低調だったことから、前年同期比▲0.2%の減少、4～6月期は、牛肉の堅調な動きに加えて、生鮮野菜等の価格が上昇したこともあり、同0.8%と8期ぶりの増加となった。

7～9月期は、肉類が堅調な動きになったものの、清涼飲料、ビールなど季節商材が低調な動きとなり、同▲0.1%の減少となった。10～12月期は、生鮮野菜の市況下落があったものの、天候不良により米の生育不振で価格が上昇したこと、セール効果などもあり、同0.1%の増加となった。

- ④ 自動車小売業は、小型乗用車、軽乗用車が減少となったものの、普通乗用車が新型車の販売が好調だったことや、一部大型セダンにも動きがあり、15兆2,180億円、前年比0.9%と7年ぶりに増加となった。

四半期別にみると、1～3月期は、新型車の乗用車の販売が好調だったことに加え、4月のグリーン税制の見直しを控えての駆け込み需要もあり、前年同期比2.0%の増加、4～6月期は、前期のグリーン税制の見直しを控えての駆け込み需要の反動で小型車、軽乗用車が弱い動きとなり、同▲1.6%の減少、7～9月期も改正されたグリーン税制前の駆け込み需要の反動が続いていること、小型車、軽乗用車の新型車効果が薄れたことなどで、同▲1.8%の減少、10～12月期は、ミニバンの新型車などが好調だったことにより、同4.6%と3期ぶりの増加となった。

- ⑤ 機械器具小売業は、プラズマや液晶の薄型テレビ、DVDプレーヤが好調に推移したものの、主力のパソコン販売が大きく減少となったほか、長梅雨、冷夏が響きエアコンが伸び悩み、7兆1,710億円、前年比▲5.2%と3年連続の減少となった。

四半期別にみると、1～3月期は、パソコン及び同関連製品が大きく前年を下回り、加えて冷蔵庫、エアコンなども減少し、前年同期比▲6.4%の減少、4～6月期は、パソコン及び同関連製品が引き続き前年を大きく下回り、加えてテレビも昨年のワールドカップサッカーの影響を受け大幅に伸長した反動減もあり、同▲6.2%の減少、7～9月期もパソコン及び同関連製品が持ち直してきたものの、長梅雨によりエアコンが大幅に減少し、同▲2.2%の減少、10～12月期は、パソコン及び同関連製品の不振が響き、加えて中小企業の販売店が不振だったことで、同▲6.0%と11期連続の減少となった。

- ⑥ 燃料小売業は、年前半石油製品の値上げがあり増加していたものの、暖房関連油種の伸び悩み、物流の合理化による軽油販売の減少などで、10兆8,210億円、前年比▲1.2%と3年連続の減少となった。

四半期別にみると、1～3月期は、前年同期比▲0.2%の減少、4～6月期は、石油製品価格の影響により同0.1%と9期ぶりに増加、7～9月期は、長梅雨や天候不順により行楽需要が振るわずガソリンが低迷し、同▲2.2%の減少、10～12月期は、行楽需要でガソリンに動きがあったものの、気温が高かったことにより灯油など暖房油種が振るわず、同▲2.5%と2期連続の減少となった。

- ⑦ その他小売業は、スポーツ用品、玩具、雑誌などの落ち込みにより引き続き低調に推移し、28兆6,360億円、前年比▲3.7%と3年連続の減少となった。

四半期別にみると、1～3月期が前年同期比▲3.4%、4～6月期が同▲5.7%、7～9月期が同▲3.3%、10～12月期も同▲2.2%と10期連続の減少となった。

## 2. 大型小売店の動向

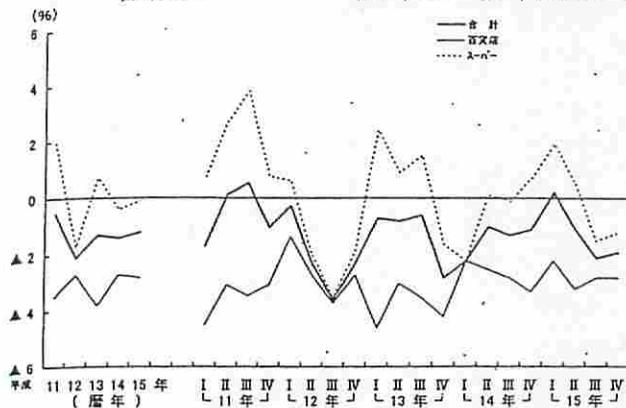
小売業販売額の約17%を占める大型小売店の販売額は、21兆7,593億円、前年比▲1.2%と6年連続の減少となった(第4図、第6表、第7表)。これは、スーパーの新規出店で商店数は増加しているものの、個人消費の弱い動きや法人需要の低迷に加え、天候不順や低価格傾向で衣料品の動きが低調だったことなどによる。商品別にみると、飲食料品は売場のリニューアルや店舗の増加、健康志向商品が堅調で増加となったが、衣料品は季節衣料の不振や価格低下で減少、その他は家具、家庭用品が法人需要の低迷により減少となった。

なお、大型小売店の既存店ベースの販売額は、同▲3.2%と平成4年から12年連続の減少となった。

### ① 百貨店

百貨店の販売額は、9兆1,067億円、前年比▲2.8%と6年連続の減少となった。これは、個人消費の停滞のなかで店舗の閉鎖や法人需要の減退、天候不順の影響で季節商材の動きが低調だったことなどによる。商品別にみると、衣

第4図 大型小売店（百貨店、スーパー）の販売額推移（前年比・前年同期比）



料品は、身の回り品では高級ハンドバッグが好調だったが、婦人靴の不振、紳士服、婦人服の低迷から減少となった。飲食料品は、売場のリニューアルなどで需要の掘り起こしを図っているものの、入店客数の減少やデパ地下ブームの一巡で減少となった。

四半期別にみると（第5図、第7表）、1～3月期は、季節衣料の不振、法人需要の減退により、前年同期比▲2.2%の減少となった。商品別にみると、衣料品は、身の回り品が高級ハンドバッグ、アクセサリなどに動きはあったものの、春物衣料が低調で全体として減少とな

った。飲食料品は、売場のリニューアル効果や、BSEの影響が薄れたことで精肉の動きが堅調になり増加となった。4～6月期も同様に同▲3.2%の減少となった。商品別にみると、衣料品は、身の回り品が高級ハンドバッグ以外は動きが鈍化、主力の婦人衣料はミセス向けを中心に低迷、紳士服も低調だったことから減少となった。飲食料品は、精肉や洋銘菓に動きはあったものの、惣菜などが不振で減少となった。7～9月期も引き続き同▲2.8%の減少となった。商品別にみると、衣料品は、身の回り品が高級ハンドバッグ、アクセサリに動きがあり増加したものの、主力の婦人・子供服をはじめ、他の商品が不振で全体として減少となった。飲食料品は、中元品の早期受注の反動などもあり減少となった。10～12月期は、歳暮の早期受注などを行ってきたが期を通せば低調な動きとなり、同▲2.8%と22期連続の減少となった。商品別にみると、主力の衣料品は、秋冬物衣料の不振、身の回り品も靴、ハンドバッグなどが伸び悩み減少となった。飲食料品は、入店客数の減少などから3期連続の減少となった。その他は、引き続き家具、家庭用品が法人需要の低迷により減少となった。

第6表 大型小売店業態別販売額及び前年（同期）比の推移

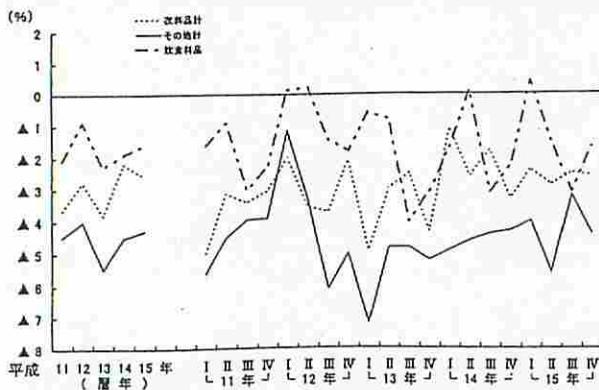
年・期	業態	合計販売額（百万円）			百貨店販売額（百万円）			スーパー販売額（百万円）					
		前年比(%)	前年比(%)		前年比(%)	前年比(%)		前年比(%)	前年比(%)				
			既存店	新店		既存店	新店		既存店	新店			
平成 11年		23,124,403	▲0.5	▲4.3	3,644	10,285,382	▲3.5	▲3.1	421	12,839,022	2.0	▲5.2	3,223
12年		22,633,879	▲2.1	▲4.6	3,792	10,011,462	▲2.7	▲2.5	417	12,622,417	▲1.7	▲6.4	3,375
13年		22,340,865	▲1.3	▲3.0	3,898	9,626,133	▲3.8	▲0.5	387	12,714,733	0.7	▲5.0	3,511
14年		22,032,840	▲1.4	▲2.2	4,013	9,365,181	▲2.7	▲2.1	372	12,667,659	▲0.4	▲2.2	3,641
15年		21,759,254	▲1.2	▲3.2	4,111	9,106,678	▲2.8	▲2.6	364	12,652,576	▲0.1	▲3.7	3,747
11年 1～3月期		5,467,386	▲1.7	▲5.3	3,482	2,457,911	▲4.5	▲4.2	419	3,009,475	0.7	▲6.2	3,063
4～6月期		5,540,749	0.1	▲3.8	3,560	2,414,950	▲3.0	▲2.6	418	3,125,799	2.7	▲4.8	3,142
7～9月期		5,649,280	0.5	▲3.6	3,597	2,447,527	▲3.4	▲3.1	420	3,201,752	3.8	▲4.0	3,177
10～12月期		6,466,988	▲1.0	▲4.3	3,644	2,964,993	▲3.0	▲2.6	421	3,501,995	0.8	▲5.8	3,223
12年 1～3月期		5,451,685	▲0.3	▲3.2	3,630	2,422,280	▲1.4	▲0.8	420	3,029,405	0.7	▲5.2	3,210
4～6月期		5,413,920	▲2.3	▲5.0	3,661	2,347,928	▲2.8	▲3.0	418	3,065,992	▲1.9	▲6.6	3,243
7～9月期		5,447,235	▲3.6	▲5.3	3,683	2,355,119	▲3.8	▲3.4	412	3,092,116	▲3.4	▲6.8	3,271
10～12月期		6,321,039	▲2.3	▲4.9	3,792	2,886,134	▲2.7	▲2.7	417	3,434,905	▲1.9	▲6.7	3,375
13年 1～3月期		5,412,446	▲0.7	▲3.4	3,822	2,310,540	▲4.6	▲1.8	399	3,101,906	2.4	▲4.5	3,423
4～6月期		5,371,669	▲0.8	▲2.9	3,812	2,277,422	▲3.0	0.3	392	3,094,247	0.9	▲5.3	3,420
7～9月期		5,412,956	▲0.6	▲2.4	3,825	2,273,019	▲3.5	▲0.1	390	3,139,937	1.5	▲4.1	3,435
10～12月期		6,143,794	▲2.8	▲3.4	3,898	2,765,152	▲4.2	▲0.5	387	3,378,642	▲1.6	▲5.8	3,511
14年 1～3月期		5,292,701	▲2.2	▲2.7	3,823	2,260,447	▲2.2	▲1.0	377	3,032,255	▲2.2	▲4.0	3,446
4～6月期		5,317,912	▲1.0	▲1.4	3,876	2,220,578	▲2.5	▲1.6	373	3,097,334	0.1	▲1.3	3,503
7～9月期		5,345,093	▲1.3	▲2.3	3,902	2,209,778	▲2.8	▲2.5	373	3,135,314	▲0.1	▲2.2	3,529
10～12月期		6,077,133	▲1.1	▲2.2	4,013	2,674,378	▲3.3	▲3.0	372	3,402,755	0.7	▲1.5	3,641
15年 1～3月期		5,301,144	0.2	▲1.9	4,045	2,210,355	▲2.2	▲2.0	368	3,090,788	1.9	▲1.9	3,677
4～6月期		5,261,689	▲1.1	▲3.4	4,059	2,148,520	▲3.2	▲3.3	367	3,113,169	0.5	▲3.5	3,692
7～9月期		5,235,063	▲2.1	▲4.2	4,073	2,147,405	▲2.8	▲2.9	365	3,087,657	▲1.5	▲5.2	3,708
10～12月期		5,961,358	▲1.9	▲3.2	4,111	2,600,397	▲2.8	▲2.3	364	3,360,961	▲1.2	▲4.0	3,747

第7表 大型小売店の商品別販売額前年（同期）比の推移

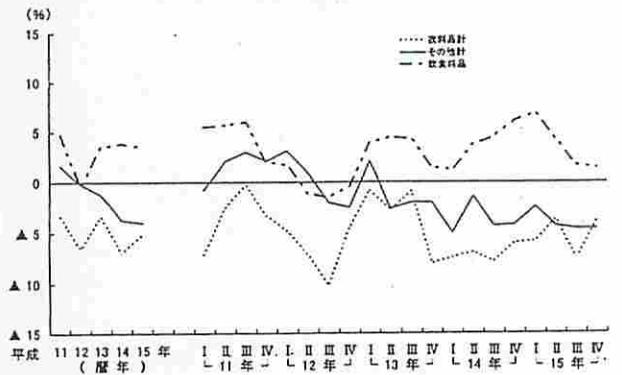
(単位：%)

業 態	商 品	合 計	衣 料 品				飲 食 料 品	そ の 他						
			紳士・ 洋 品	婦人・ 子 供 服 ・ 洋 品	そ の 他 の 衣 料 品	身 の 回 り 品		家 具	家 庭 用 電 気 機 械 器 具	家 庭 用 品	そ の 他 の 商 品	食 堂 ・ 喫 茶		
合 計	平 成 11 年	▲ 0.5	▲ 3.5	▲ 6.2	▲ 2.6	▲ 9.0	▲ 0.7	2.8	▲ 1.1	▲ 6.7	▲ 4.4	▲ 3.6	1.3	▲ 4.5
	12 年	▲ 2.1	▲ 4.1	▲ 8.0	▲ 3.6	▲ 6.9	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 1.8	▲ 6.0	▲ 6.5	▲ 7.8	1.2	▲ 2.8
	13 年	▲ 1.3	▲ 3.6	▲ 6.2	▲ 3.5	▲ 6.9	▲ 0.2	1.9	▲ 3.0	▲ 9.7	▲ 9.3	▲ 5.9	▲ 0.6	▲ 2.3
	14 年	▲ 1.4	▲ 3.9	▲ 6.2	▲ 3.8	▲ 6.8	▲ 1.0	2.4	▲ 4.1	▲ 10.5	▲ 20.4	▲ 6.9	▲ 0.5	▲ 3.9
	15 年	▲ 1.2	▲ 3.5	▲ 4.3	▲ 3.5	▲ 5.5	▲ 2.0	2.2	▲ 4.1	▲ 9.0	▲ 22.9	▲ 8.1	▲ 0.8	▲ 4.0
	15 年 1～3 月期	0.2	▲ 3.6	▲ 5.6	▲ 3.5	▲ 4.8	▲ 1.7	5.4	▲ 3.1	▲ 7.2	▲ 16.9	▲ 9.2	0.5	▲ 3.4
	4～6 月期	▲ 1.1	▲ 3.1	▲ 3.2	▲ 3.1	▲ 5.2	▲ 2.5	3.0	▲ 4.8	▲ 8.8	▲ 29.2	▲ 10.5	▲ 0.5	▲ 5.1
	7～9 月期	▲ 2.1	▲ 4.2	▲ 5.1	▲ 4.7	▲ 5.2	▲ 1.8	0.5	▲ 4.0	▲ 9.8	▲ 26.3	▲ 8.3	0.0	▲ 5.6
	10～12 月期	▲ 1.9	▲ 3.0	▲ 3.6	▲ 2.7	▲ 6.5	▲ 2.0	0.5	▲ 4.5	▲ 10.3	▲ 19.8	▲ 4.4	▲ 2.7	▲ 1.7
	百 貨 店	平 成 11 年	▲ 3.5	▲ 3.6	▲ 6.9	▲ 3.1	▲ 8.7	▲ 0.1	▲ 2.1	▲ 4.5	▲ 9.4	▲ 12.8	▲ 5.2	▲ 3.0
12 年		▲ 2.7	▲ 2.8	▲ 8.2	▲ 2.0	▲ 6.9	1.1	▲ 0.9	▲ 4.0	▲ 3.4	▲ 1.7	▲ 3.5	▲ 4.4	▲ 3.6
13 年		▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 7.6	▲ 3.7	▲ 7.5	0.4	▲ 2.3	▲ 5.5	▲ 12.8	▲ 12.2	▲ 7.2	▲ 3.9	▲ 3.5
14 年		▲ 2.7	▲ 2.2	▲ 5.5	▲ 2.1	▲ 6.4	1.2	▲ 1.9	▲ 4.5	▲ 16.0	▲ 18.3	▲ 6.5	▲ 1.9	▲ 3.4
15 年		▲ 2.8	▲ 2.6	▲ 3.7	▲ 2.7	▲ 6.2	▲ 0.6	▲ 1.6	▲ 4.3	▲ 9.6	▲ 17.2	▲ 6.6	▲ 2.8	▲ 3.0
15 年 1～3 月期		▲ 2.2	▲ 2.4	▲ 3.9	▲ 2.3	▲ 6.0	▲ 0.7	0.4	▲ 4.0	▲ 9.6	▲ 13.5	▲ 6.6	▲ 2.4	▲ 3.2
4～6 月期		▲ 3.2	▲ 2.9	▲ 3.7	▲ 2.8	▲ 5.9	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 5.6	▲ 8.3	▲ 18.4	▲ 7.2	▲ 4.7	▲ 3.9
7～9 月期		▲ 2.8	▲ 2.5	▲ 3.8	▲ 2.9	▲ 5.4	0.2	▲ 3.1	▲ 3.2	▲ 8.7	▲ 21.2	▲ 6.8	▲ 0.7	▲ 4.4
10～12 月期		▲ 2.8	▲ 2.6	▲ 3.3	▲ 2.6	▲ 7.4	▲ 0.5	▲ 1.7	▲ 4.4	▲ 11.8	▲ 15.9	▲ 5.8	▲ 3.3	▲ 0.5
ス ー パ ー		平 成 11 年	2.0	▲ 3.4	▲ 5.2	▲ 1.6	▲ 9.3	▲ 1.9	4.7	1.7	▲ 2.5	▲ 2.9	▲ 2.7	5.1
	12 年	▲ 1.7	▲ 6.5	▲ 7.8	▲ 6.8	▲ 6.9	▲ 3.4	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 9.5	▲ 7.3	▲ 10.1	5.8	0.6
	13 年	0.7	▲ 3.4	▲ 4.0	▲ 3.2	▲ 6.1	▲ 1.4	3.5	▲ 1.2	▲ 5.1	▲ 8.7	▲ 5.1	1.8	2.8
	14 年	▲ 0.4	▲ 7.0	▲ 7.2	▲ 7.2	▲ 7.2	▲ 5.9	3.9	▲ 3.7	▲ 3.0	▲ 20.8	▲ 7.2	0.4	▲ 5.7
	15 年	▲ 0.1	▲ 5.1	▲ 5.2	▲ 5.2	▲ 4.6	▲ 5.3	3.5	▲ 4.0	▲ 8.4	▲ 23.9	▲ 8.9	0.6	▲ 7.8
	15 年 1～3 月期	1.9	▲ 5.8	▲ 8.1	▲ 6.2	▲ 3.4	▲ 4.0	6.9	▲ 2.4	▲ 4.2	▲ 17.4	▲ 10.7	2.4	▲ 4.0
	4～6 月期	0.5	▲ 3.7	▲ 2.4	▲ 3.6	▲ 4.4	▲ 4.8	4.3	▲ 4.3	▲ 9.5	▲ 31.2	▲ 12.3	2.3	▲ 9.8
	7～9 月期	▲ 1.5	▲ 7.5	▲ 6.9	▲ 8.6	▲ 5.0	▲ 6.8	1.7	▲ 4.6	▲ 11.4	▲ 27.2	▲ 9.0	0.5	▲ 10.4
	10～12 月期	▲ 1.2	▲ 3.9	▲ 4.1	▲ 2.8	▲ 5.5	▲ 5.9	1.4	▲ 4.6	▲ 8.7	▲ 20.5	▲ 3.5	▲ 2.2	▲ 6.8

第5図 百貨店の商品別推移(前年比・前年同期比)



第6図 スーパーの商品別推移(前年比・前年同期比)



なお、百貨店の既存店ベースの販売額は、前年比▲2.6%と7年連続の減少となった。

## ② スーパー

スーパーの販売額は、12兆6,526億円、前年比▲0.1%と2年連続の減少となった。これは飲食料品が新規出店による商店数の増加や健康志向食材の堅調な伸びにより増加しているものの、衣料品が低価格傾向から減少したことによる。

四半期別にみると(第6図、第7表)、1～3月期は、新規出店効果や、飲食料品がBSEの影響が薄れ精肉が復調、健康志向食品の好調などから、前年同期比1.9%と2期連続の増加となった。商品別にみると、衣料品は低価格傾向で依然不振だったものの、飲食料品がBSEの影響から回復した精肉、健康志向食品の好調、催事効果による健闘もあり増加となった。

4～6月期は、新規出店があったことに加え、飲食料品が堅調だったことにより、同0.5%と3期連続の増加となった。商品別にみると、衣料品が低価格傾向で減少、飲食料品がBSEの影響からの回復により引き続き精肉が好調だったことや、生鮮野菜の相場高などもあり増加となった。7～9月期は飲食料品は健闘したものの、天候不順で衣料品や住関連品の季節商品が不振だったことから、同▲1.5%と4期ぶりの減少となった。商品別にみると、飲食料品は増加となったが、衣料品が長梅雨など天候不順の影響などもあり、紳士服・洋品をはじめとして全てが減少、その他は家具、家庭用電気機械器具が売場面積の縮小などもあり減少となった。10～12月期は一部で日本シリーズ優勝セール効果も見られたが、全般に季節商材が不振で、同▲1.2%と2期連続の減少となった。商品別にみると、飲食料品の動きは堅調だったものの、売場面積の縮小が続いている家庭用電気機械器具などのその他や季節衣料が低調な衣料品は減少となった。

なお、スーパーの既存店ベースの販売額は、前年比▲3.7%と平成4年以降、12年連続の減少となった。

及びサービス売上高の合計は、7兆964億円、前年比1.7%の増加となった(第7図、第8表)。なお、既存店ベースでみると、同▲2.3%と4年連続の減少となった。

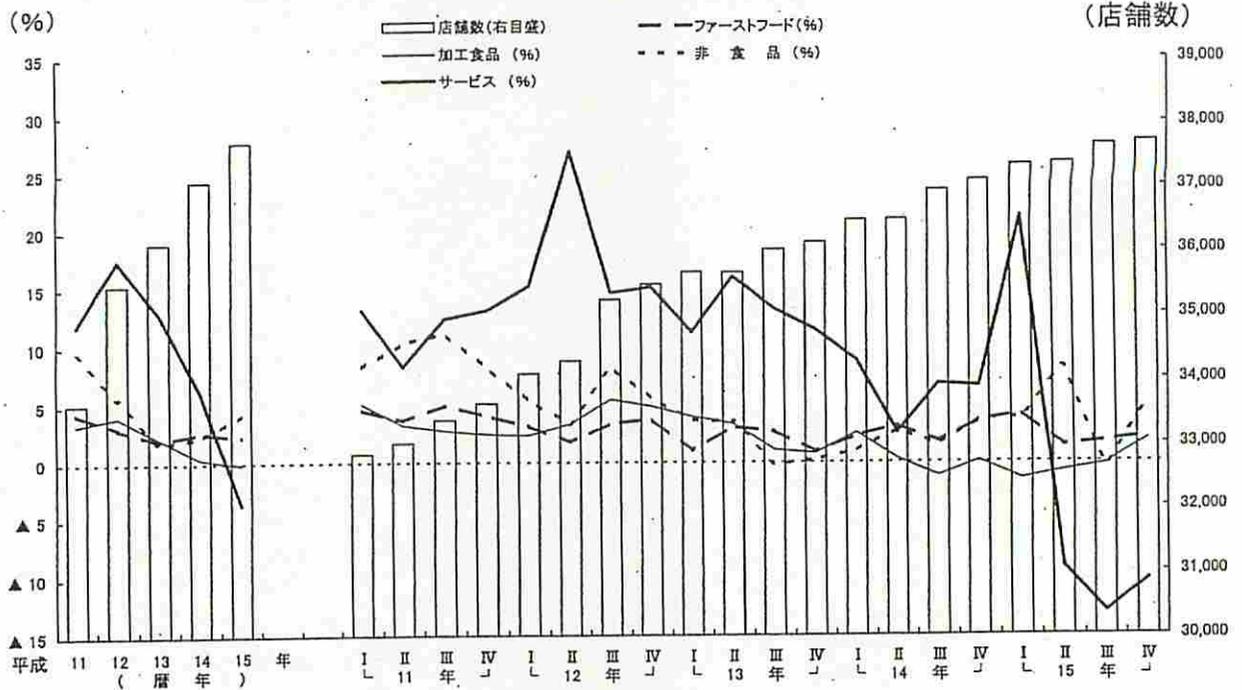
商品販売額は、6兆7,602億円、同1.9%の増加(既存店ベースでは同▲2.1%の減少)となった。商品別にみると、ファーストフード及び日配食品は、おにぎりなどを中心に2兆5,219億円(商品販売額に対する構成比37.3%)、同2.3%の増加となったが、客単価の下落傾向が続き、販売額の伸びは鈍化した。加工食品は、長梅雨や冷夏でソフトドリンクなどが伸び悩み2兆3,940億円(同35.4%)、同▲0.1%とわずかながらも調査開始以来初めての減少となった。非食品は、たばこが増税で販売額が増えたことなどもあり1兆8,443億円(同27.3%)、同4.2%の増加となった。サービス売上高をみると、2月で高額ハイウェカード(3万円及び5万円)の販売が中止になったことにより3,362億円(合計に対する構成比4.7%)、同▲3.6%の減少(既存店ベースでも、同▲6.0%の減少)とともに調査開始以来初めての減少となった。

店舗数をみると、平成15年末で3万7,691店、前年末に比べ608店(前年末比1.6%の増加)の増加となった。

## 3. コンビニエンスストアの動向

平成15年のコンビニエンスストアの商品販売額

第7図 コンビニエンスストアの店舗数と販売額伸び率（前年比・前年同期比）



第8表 コンビニエンスストアの商品販売額及び前年（同期）比の推移

（単位 金額：百万円、前年（同期）比：％）

商品等 年	合 計														店舗数 (年末・期末)			
	商品販売額														サービス 売上高		前年比	
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比					
	既存店	前年比	既存店	前年比	既存店	前年比	既存店	前年比	既存店	前年比	既存店	前年比						
平成11年	6,383,316	5.5	0.2	6,135,679	5.3	0.1	2,282,855	4.4	2,242,984	3.4	1,609,841	9.5	247,637	11.9	4.9	33,627	4.3	
12年	6,680,389	4.7	▲1.4	6,389,365	4.1	▲1.7	2,352,809	3.1	2,335,245	4.1	1,701,311	5.7	291,024	17.5	5.7	35,461	5.5	
13年	6,845,688	2.5	▲1.8	6,517,261	2.0	▲2.1	2,399,038	2.0	2,387,309	2.2	1,730,914	1.7	328,425	12.9	4.7	36,113	1.8	
14年	6,979,813	2.0	▲1.9	6,631,175	1.7	▲2.1	2,464,249	2.7	2,396,809	0.4	1,770,117	2.3	348,638	6.2	1.8	37,083	2.7	
15年	7,096,444	1.7	▲2.3	6,760,199	1.9	▲2.1	2,521,919	2.3	2,393,951	▲0.1	1,844,329	4.2	336,245	▲3.6	▲6.0	37,691	1.6	
平成11年	1~3月期	1,479,754	6.0	1.0	1,423,245	5.7	0.8	529,716	4.6	517,026	5.1	376,504	8.3	56,509	13.1	8.6	32,837	4.1
	4~6月期	1,570,764	5.3	0.1	1,517,615	5.2	▲0.1	565,724	3.7	556,908	3.3	394,983	10.3	53,149	8.3	6.1	33,009	4.0
	7~9月期	1,712,995	5.9	0.5	1,649,725	5.6	0.4	616,490	5.0	615,637	2.8	417,598	11.1	63,270	12.4	3.9	33,371	4.0
	10~12月期	1,619,803	5.0	▲0.5	1,545,094	4.6	▲0.7	570,925	4.1	553,413	2.5	420,756	8.2	74,709	13.1	2.3	33,627	4.3
平成12年	1~3月期	1,538,114	3.9	▲1.7	1,473,036	3.5	▲1.9	546,931	3.2	529,448	2.4	396,657	5.4	65,078	15.2	2.5	34,083	3.8
	4~6月期	1,627,543	3.6	▲1.9	1,560,105	2.8	▲2.2	576,096	1.8	575,577	3.4	408,432	3.4	67,438	26.9	8.2	34,278	3.8
	7~9月期	1,811,609	5.8	▲0.5	1,739,111	5.4	▲0.7	637,430	3.4	649,754	5.5	451,927	8.2	72,498	14.6	5.0	35,223	5.5
	10~12月期	1,703,123	5.1	▲1.5	1,617,113	4.7	▲1.9	592,352	3.8	580,466	4.9	444,295	5.6	86,010	15.1	6.9	35,461	5.5
平成13年	1~3月期	1,587,182	3.2	▲1.7	1,514,839	2.8	▲1.9	552,580	1.0	550,755	4.0	411,504	3.7	72,343	11.2	2.4	35,647	4.6
	4~6月期	1,690,322	3.9	▲0.7	1,612,102	3.3	▲1.1	594,003	3.1	594,868	3.4	423,231	3.6	78,220	16.0	7.3	35,641	4.0
	7~9月期	1,844,715	1.8	▲2.5	1,762,653	1.4	▲2.9	654,854	2.7	656,597	1.1	451,202	▲0.2	82,062	13.2	5.5	35,997	2.2
	10~12月期	1,723,469	1.2	▲2.0	1,627,667	0.7	▲2.3	597,601	0.9	585,089	0.8	444,977	0.2	95,800	-11.4	3.9	36,113	1.8
平成14年	1~3月期	1,625,202	2.4	▲1.3	1,546,510	2.1	▲1.3	565,404	2.3	565,331	2.6	415,775	1.0	78,692	8.8	▲1.1	36,463	2.3
	4~6月期	1,725,020	2.1	▲1.8	1,644,779	2.0	▲1.8	613,094	3.2	596,802	0.3	434,883	2.8	80,241	2.6	▲1.3	36,474	2.3
	7~9月期	1,861,412	0.9	▲2.8	1,773,810	0.6	▲3.2	666,903	1.8	648,972	▲1.2	457,935	1.5	87,602	6.8	5.2	36,930	2.6
	10~12月期	1,768,179	2.6	▲1.5	1,666,076	2.4	▲1.8	618,848	3.6	585,704	0.1	461,524	3.7	102,103	6.6	3.8	37,083	2.7
平成15年	1~3月期	1,673,330	3.0	▲1.1	1,577,928	2.0	▲2.1	589,074	4.2	556,764	▲1.5	432,090	3.9	95,402	21.2	17.5	37,324	2.4
	4~6月期	1,757,253	1.9	▲2.2	1,684,287	2.4	▲1.7	621,630	1.4	592,179	▲0.8	470,478	8.2	72,966	▲9.1	▲11.4	37,358	2.4
	7~9月期	1,858,794	▲0.1	▲4.0	1,782,615	0.5	▲3.5	678,813	1.8	647,753	▲0.2	456,049	▲0.4	76,179	▲13.0	▲14.8	37,642	1.9
	10~12月期	1,807,067	2.2	▲1.5	1,715,369	3.0	▲0.8	632,402	2.2	597,255	2.0	485,712	5.2	91,698	▲10.2	▲12.4	37,691	1.6